



第1122号
2009年5月3日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇5月の代祷・信施奉献先
▽諸神学校のため(復活節第4主日5・3)▽アジア・エキユメニカル週間(5・24〜30)▽名古屋学生青年センターのため▽カパティランの働きのため
▽銀座朝拝会5月 12日&26日(第2・第4火曜7時半)ノアール喫茶室(ニュー銀座)。
照会TEL 042(796)149
8・事務局。
▽西新の会5月 12日19時半
|| 聖餐式(高橋頭司祭)&26日10時半|| 聖書の学び(関正勝司祭)。会場|| 井草地域区民センター。照会TEL 03(3951)5010・目白聖公会。
▽5月ランチタイム・オルガンコンサート *聖パウロ|| 8日(金) 12時20分、長山結、デ

今週・来週の予定
5月3日~16日

- 3(日) 復活節第4主日
主教巡回
八王子復活教会
- 6(水・休) 下町Gピクニック
環状G合同礼拝
- 7(木) 山手G 牧師協議会
下町G 牧師協議会
- 8(金) 広報委員会
人権: 日の丸・君が代
- 10(日) 復活節第5主日
主教巡回
聖パウロ教会
- 11(月) 正義と平和協議会連
営委員会
- 12(火) 銀座朝拝会
人権委員会
教区企画室
- 14(木) 環状G 牧師協議会
- 15(金) 月島聖公会・聖ルカ保
育園将来計画準備室
- 16(土) 礼拝音楽委: ベスト
リーツア

イック・コーマンス *聖テモテ|| 19日(火) 12時30分、菊池泰子 *神田キリスト|| 20日(水) 12時20分、中村文栄 (いずれも30分程度・入場無料)
▽聖一ガレット教会《マーガレットコンサート》17日(日) 14時。演奏|| 北大合唱団東京OB会クラーククラブ。入場無料(会場献金)。照会TEL 03(3334)2812。
「訂正とお詫び」 前号第3面クローズアップ欄の記事中、「ハラスメント防止委員会設置はこれまで京都・北海道の2教区のみ」という趣旨の箇所は、「設置をみたのはこれまで教区のみで」とお詫びして訂正します。
「休刊のお知らせ」 小紙10日発行号を制作日程の関係で休刊します(17日号から復刊)。

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

主日の礼拝の中で特に病者や高齢者を覚えて祈ります。その中の方々の訪問を希望しています。しかし現実には家庭状況などからお訪ねしにくい場合もあります。そんな中、気になつているKさんをお訪ねしました。急に訪問することに気が引けました。しかし何日も前の予約ではかえってお氣を使わせてしまふと思ひ結局、直前に電話しました。

《み手のなかで》

祈っておられるイエス様

司祭 神崎 和子

一日一日主を仰ぎ見て大切に暮らしておられました。感謝の言葉と共に笑いがありました。そのKさんが小さな小さな声で、ぼつんと言われた「私、死んだら天国にいきたいです」重い病の総てを受け入れた信仰的な言葉でした。私は「主は私たちの思いを超えて、Kさんに一番良い道を必ず備えて下さいます。主にゆだね祈りましょう」と言いました。Kさんそのまま素直に「はい」とお答えになりました。

Kさんの傍に主イエスがおられると思ひました。そしてKさんと共に祈っておられる主の姿を感じました。

訪問はそんな思い込みを払拭するもので、それは実に豊かなものとなりました。共に祈り、聖体を分かち合いました。主に総てを委ねて生きるKさんにお会いした時、諸々のことに思ひ煩つていたものがスーと消えていく感じがしました。重い病の治療中であってもKさんは、

温かい風が吹きました。訪問することによる豊かさ感謝を感じました。

(大森聖アグネス教会牧師)

信仰と生活委員会報告

(4月23日)

*6月信徒講座の開講確認Ⅱ講師・雨宮慧神父、5日・6日(金曜夜・土曜午後)の連続、松戸聖パウロ教会。

*大斎プログラム一覧(HPおよび文書)と同様に、キャンプやクリスマス特集も継続企画。

*COAスタッフ要請により、新担当教役者・スタッフで中高生対象プログラムなど今夏へ向けて推進企画。

*各教会G報告、関連活動報告(正義と平和協議会講演会、一粒の麦の会バス旅行など)。
*その他。

▽礼拝音楽委員会主催ベストリーツァー 東京教区同委員会

オルターギルド研修会のプログラムで、今回は浅草聖ヨハネ教会・聖路加国際病院聖ルカ礼拝堂・月島聖公会の隅田川沿い3か所を巡る。5月16日(土)10時~16時。それぞれの教会では10時、13時15分、15時開始と予定され、朝の礼拝から始まり夕の礼拝まで(部分参加可)。移動は公共機関を利用。昼食は適宜(持参の場合は聖ルカ礼拝堂のプライベートルームなどの利用可)。参加費無料(交通費・昼食代は各自負担)。申込締切は11日。照会Ⅲ03(3533)602

1.下条知加子聖職候補生。なおオープンとして17時から、月島界限で「もんじゃ」が予定されている。

▽東京諸聖徒教会コンサート

Ⅱソプラノとリユートによる16~18世紀の音楽&バロックダンス「宮廷への招待」5月9日(土)14時開演、入場料2千5百円。照会Ⅲ03(3945)2074・同教会。

▽一粒の麦の会(南房総バス旅行) 今回は横浜教区館山聖アンデレ・安房大貫キリスト両教会を、海ほたる・館山道経由貸切りバスで巡りながら、初夏の臨海・南房総の風光と味覚を合わせ楽しむ趣向(新装成った聖アンデレで聖餐式も)。5月28日(木)、8時半、新宿駅西口スバルビル脇集合。参加費5千円(含交通費・昼食代)。募集締切11日(先着50人)。照会Ⅲ0901653810852(世話人・足立征三郎)。

「クローズアップ」13

聖職養成委員会リクルートプログラムの実施へ

「キリストにある兄弟(姉妹)よ、この人(びと)は神の教会の司祭(執事)として召されています。皆さんはこの人(びと)が司祭(執事)に按手されることに同意しますか」「同意します」「皆さんはこの人(びと)を司祭(執事)として支持しますか」「支持します」...

このやり取りは、司祭(執事)按手式の中で、司式者であられる主教と会衆との間で交わされるものです。さらに遡って、1959年のいわゆる「文語の祈禱書」「聖職按手式」の序言中では、次のような件がありまし

た。「...まず召され、試みられ、次の式に従って立てられたる者」と。

いま改めて、これらの「聖職按手式」式文の文言を読み返してみますと、言わずもがなではありませんが、聖職を志すということとは神様との不断の対話なくしては成り立ち得ないものであることが一つと、神の民である教会が献げるものであるということがはつきりと見えてきます。

もう少し言葉を足すなら「神様は、この自分をどのように用いようとされていらっしやるのですか?」という絶えざる問いかけの中で初めて授けられる、御声への応答によるものであると言えましよう。そしてそれを支えるのが教会の祈りであり、

務めであると言えましよう。

このことに仕えるべく、聖職養成委員会としてその責務を話し合い、考えておりますが、本年度から全教会グループ協議会にお時間を頂き、聖職を目指す人々をリサーチし、その志のある人を教会全体、教区全体の喜び、また感謝としていかれるよう働き始めました。また、献身の志ある人が与えられるようにとの願いをこめ、「召命黙想会(仮称)」の開催や、全教会へ配り随時用いて頂けるようなお祈り(カード版)作成の実施へ向けての検討を始めています。

どうぞ、皆様のご理解ご協力とお祈りを賜りたく存じます。

聖職養成委員会委員長

司祭 高橋宏幸